

# 音楽科 1～6段階

音楽科の目標（上段は学習指導要領からの目標，下段は本校での指導の形態ごとの目標）

小学部	<p>表現及び鑑賞の活動を通して，音楽についての興味や関心をもち，その美しさや楽しさを味わうようにする。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>表現及び鑑賞の活動を通して，音楽についての興味や関心をもち，その美しさや楽しさを味わう。</p>
中学部	<p>表現及び鑑賞の能力を培い，音楽についての興味や関心を深め，生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>表現及び鑑賞の能力を培い，音楽についての興味や関心を深め，生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を身に付ける。</p>
高等部	<p>表現及び鑑賞の能力を伸ばし，音楽活動への意欲を高めるとともに，生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>表現及び鑑賞の能力を伸ばし，音楽活動への意欲を高めるとともに，生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を身に付ける。</p>

内容の構成（観点の構成）

小学部相当	1段階	音楽遊び				5 5
	2段階	鑑賞	身体表現	器楽	歌唱	5 5
	3段階					5 7
中学部相当	4段階					5 7
高等部相当	5段階					5 9
	6段階					5 9

音楽科 1, 2段階

観点		音楽遊び	
段階	内容	指導内容	
1 段階	(1)音楽が流れている中で体を動かして楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の歌や演奏, CDや電子楽器などを利用し, 児童が音楽が流れている中で遊び, 音楽に気づき, 休息する。</li> <li>・教師と一緒に音楽に合わせて身体の部位を動かす, 歩く, 走る, 止まるなどの活動をする。</li> </ul>	
	(2)音の出るおもちゃで遊んだり, 扱いやすい打楽器などでいろいろな音を鳴らしたりして楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの中で, がらがら, らっぱ, 太鼓などの音の出るおもちゃに自然に触れたり, 鳴らしたりする。</li> <li>・音の出るおもちゃに関心を示したり, 意欲的にかかわったりする。</li> <li>・ツリーチャイム, カバサ, 鈴等を振ったり, 揺らしたり, こすったりして音を出す。</li> <li>・シンバル, ティンパニー, 太鼓などの打楽器を実際に手で触れたり, パチで打ったりすることで, 実際に音を出してみる。</li> <li>・振動を楽しむギター等の弦楽器, 傾けたりすることによって音が出る楽器, 音の様子を視覚的にも感じることができる楽器, 吹く楽器, 声や言葉を音にすることができる楽器などを使って, 実際に音を出してみる。</li> <li>・児童が様々な音に出会い, 楽器にかかわることによって, 音が鳴ることに気付くことや喜びを感じる。</li> <li>・教師と音や音楽を通して, やりとりすることによって, 情緒の安定を促したり, 心躍るような体験をしたりする。</li> </ul>	

観点	鑑賞		身体表現	
	内容	指導内容	内容	指導内容
2 段階	好きな音や音楽を聴いて楽しむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽曲だけでなく, 楽器の音そのものや, 生活の中で聴く機会の多い乗り物, 時計, ベル, 流水, 風などの音を聴く機会を広げる。</li> </ul>	友達や教師とともに簡単なリズムの特徴を感じ取って身体を動かす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が友達や教師と一緒に身体を動かし, 楽しむ。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・知っている曲やいろいろな楽器の音を聴いて, 好きな音や音色, 音楽を見付ける。</li> <li>・教師の演奏を聴くなど, 1段階より意図的な活動を行うことで聴く楽しさを味わうことができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達や教師の表現を見て楽しむ。</li> <li>・児童の自発的な動きにリズムや音楽を合わせることから始めるなどして, 徐々に音楽を聴きながら身体を動かす楽しさを味わう。</li> <li>・「歩く」→「止まる」→「走る」→「止まる」などのリズムの違いを意識する。</li> <li>・「♪♪♪♪」, 「♪♪♪♪」, 「♪♪♪♪」等のリズムで, 身体の各部位を打つ。</li> <li>・上記のリズムで打楽器を打ちながら歩いたり, 走ったりする。</li> <li>・簡単なハンドプレイや動作模倣等の活動をする。</li> <li>・リズムの特徴に気づき, それに合わせた身体表現をしようとする。</li> </ul>

観点 段階	器楽		歌唱	
	内容	指導内容	内容	指導内容
2 段階	打楽器などを使 ってリズム遊 びや簡単な合奏 をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両手の協応を高めるタンバリン, ウッドブロック, ギロなどの楽器や, 音階や和音を鳴らすことができる木琴, キーボード, トーンチャイム, 和音を出すことができる笛などの楽器を使って自由に音を鳴らす。</li> </ul>	好きな歌ややさ しい旋律の一部 分を楽しく歌う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな歌, なじみの歌, 特徴的で分かりやすいところのある歌の一部を歌う。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の楽器を使って合図に合わせて楽器を鳴らす。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌いたいという欲求を, 引き出し, 声で表現するという楽しさを味わいながら歌う。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の楽器を使って大小, 強弱, 速度に合わせて楽器を鳴らす。</li> </ul>		

音楽科 3, 4段階

観点 段階	鑑賞		身体表現	
	内容	指導内容	内容	指導内容
3 段階	身近な人の歌や演奏などを聴き、いろいろな音楽に関心をもつ。	・教師や友達に加えて、近隣の人々などの歌や演奏を聴き、実際に楽器や歌う人々を見たり、静かに耳を傾けたりする。	音楽に合わせて簡単な身体表現をする。	・音楽に合わせて、身近な動植物や乗り物の模倣表現をする。
		・行進曲、劇の音楽、踊りの音楽、郷土の音楽、わらべうた、諸外国の音楽などを、視聴覚教材などを活用したり、演奏している場面を見たりしながら関心をもって聴く。		・歌いながらハンドプレイをする。
		・学校生活の中で流れる音楽に関心をもつ。		・楽器や道具を使って身体表現をする。
		・身近な楽器などの音を当てる		・簡単なフォークダンスをする。

観点 段階	鑑賞		身体表現	
	内容	指導内容	内容	指導内容
4 段階	いろいろな音楽を楽器の音色などに関心をもって聴く。	・バイオリン、トランペット、ドラムなど、曲の中で用いられている楽器の特徴的な音色に興味をもって、積極的に聴く。	音楽を聴いて感じたことを動作で表現したり、リズムに合わせて身体表現をしたりする。	・曲想や雰囲気を感じ取りイメージをつくりながら自由に身体表現をする。
		・地元の伝統音楽や、日本や世界の民謡、組曲、交響曲など多様な音楽を聴き、曲の雰囲気や曲想を感じ取る。		・リズムの違いや特徴をとらえて身体表現をする。
		・自分の好きな音楽を選んだり旋律を覚えたりする。		・わらべ歌等のゲームを楽しむ。
		・自分の歌声や演奏を録音し、再生して聴く。		・知っているフォークダンスを踊る。
		・自分の好きな歌や演奏を視聴覚機器によって聴く。		・民族音楽の特徴を感じ取りながらフォークダンスや民謡を踊る。
		・自然音や生活音に興味をもって聴く。		・相手の気持ちやリズムに合わせて踊る。
			・踊りを通じて心の交流を深め楽しさを味わう。	

観点 段階	器楽		歌唱	
	内容	指導内容	内容	指導内容
3 段階	旋律楽器に親しみ、簡単な楽譜を見ながらリズム合奏をする。	・楽器の絵を順番に並べて書いた絵譜や文字で音符、リズムや旋律、和音を書いた楽譜を見ながら、けん盤楽器やリコーダーなどの音階が決められた位置にある楽器を使って、曲の一部を演奏する。	やさしい歌を伴奏に合わせながら、教師や友達などと一緒に歌ったり、一人で歌ったりする。	・やさしい歌を伴奏を聴きながら歌う。
		・上記の楽譜を見ながら、単音グロックンやハンドベルなどの一音一音が別々に出せる有音程の打楽器を使って、曲の一部を演奏する。		・教師や友達などの身近な相手に補助されながら歌う。
		・旋律楽器を打楽器のように演奏して、和声の一部を奏でる。		・伴奏が流れる中で人と合わせながら歌う。
				・歌詞や曲を覚えて一人で伴奏に合わせながら歌う。

観点 段階	器楽		歌唱	
	内容	指導内容	内容	指導内容
4 段階	打楽器や旋律楽器などを使って自由に演奏したり合奏や独奏をしたりする。	・和太鼓やボンゴなどの打楽器、鉄琴や電子ピアノなどの旋律楽器、雨や風、波の音などを出す楽器を使って演奏する。	歌詞やリズムなどに気を付けて、独唱、斉唱、簡単な輪唱などをする。	・歌詞を正しく覚え、歌詞の内容を理解し、気持ちを込めて歌う。
		楽器を組み合わせて自分で音をつくったり、曲をつくったりして表現する。		・歌詞の表す情景や曲想について、生徒が見たことのある風景やそれを見たときの感情などを話し合いイメージをもつ。
		手作り楽器をつくって即興演奏をする。		・はっきりした音声で音程を整え、正しいリズムで自信をもって自ら進んで歌う。
		・打楽器や旋律楽器などを用いて友達などと一緒に演奏したり、一人で演奏したりする。		・教師や友達の歌、伴奏の響きを聴きながら歌う。
		・力をコントロールして強弱やアクセントを意識しながら演奏する。		・きれいな歌声を意識したり、相手に合わせて、自分の声をコントロールしながら歌う。
		・友達と一緒に演奏する喜びを共有する。		・いろいろな歌を聴いたり歌ったりすることによって、好きな歌、歌える歌の範囲を広げる。
	・正しい楽器の扱い方や収納方法などについて知る。			

音楽科 5, 6段階

観点 段階	鑑賞		身体表現	
	内容	指導内容	内容	指導内容
5 段階	(1)いろいろな音楽をその美しさを感じ取りながら鑑賞する。	・映画の主題歌, ポピュラーな名曲などをCDで聴く。	(1)音楽を聴いて曲の特徴などを感じ取り, 創造的に身体の動きで表現したりする。	・旋律の特徴やリズムの違いを聴き分けたり, 聴き比べて身体で表現したりする。
		・音楽会やビデオ, DVDで映像を見ながら鑑賞する。		・曲想や雰囲気を感じ取ったり, 自然の中の関心のある音やものを身体で表現したりする。
		・音楽を聴いてよさや美しさを聴き比べ, 特徴を感じ取り, 感じたことを身近な人と話し合ったりする。		

観点 段階	鑑賞		身体表現	
	内容	指導内容	内容	指導内容
6 段階	(1)いろいろな音楽をその美しさを感じ取りながら鑑賞する。	・ミュージカルの中で歌われる有名な歌曲や, 日本の伝統的な楽器による音楽や民謡, 世界の音楽など幅広い音楽を聴く。	(1)音楽を聴いて感じたイメージを創造的に身体表現する。	・音楽を聴いて自分のイメージを広げて身体表現する。
		・曲の音楽的な特徴やその美しさを味わう。		・心に感じたり, 音や音楽を自分で選んで思ったことを自由な発想で身体表現する。
		・歌手や作曲家, 演奏者, 時代などに興味をもち, 曲のイメージを広げながら聴いて味わう。		・布やリボン, 楽器などを活用し, 曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取り, 豊かな表現を工夫する。
		・友達と好きな曲や歌を聴く時間を共有して楽しむ。		
		・自分の歌声や演奏を再生して聴いて, より美しく表現しようとする。		
		・日常生活の中で好きな音楽を聴き自分の生活そのものを楽しむ。		
		・映画やドラマのテーマ曲, ミュージカルやオペラなどの楽曲などに興味をもち, 積極的に鑑賞する。		
・自分の気持ちに合った歌や音楽を聴くことで自分の生活そのものを楽しむ。				
・集会や発表会に進んで参加するなど生活の中で音楽を鑑賞する意欲を高める。				

観点 段階	器楽		歌唱	
	内容	指導内容	内容	指導内容
5 段階	(1)打楽器や旋律楽器などに親しみ、その演奏の仕方に慣れ、気持ちを込めて合奏や独奏をする。	・日本古来の打楽器やラテン音楽で用いられる打楽器、ギターやキーボードなど、好きな楽器で奏法に徐々に慣れたり、工夫したりして演奏する。	(1)歌唱の内容を感じ取って独唱、斉唱、簡単な合唱などをする。	・歌詞の意味を理解し、その意味に合わせた表現をするために、呼吸の仕方、口の開け方、発声などに気を付ける。
		・友達と協力したり役割分担したりして合奏し、達成感を味わう。		・人の声を聴いて輪唱、部分合唱をしたりする。
		・楽器操作の状態や好みなどに合わせて楽器を選択することで、演奏への興味や楽器への親しみの気持ちを高める。		
		・奏法や楽譜の工夫、曲のアレンジにより、意欲的に演奏に取り組む。		
		・ゆとりを持って、曲想を感じながら演奏する。		

観点 段階	器楽		歌唱	
	内容	指導内容	内容	指導内容
6 段階	(1)打楽器や旋律楽器などの演奏の仕方に慣れ、楽器の特色や音色を生かしながら合奏や独奏をする。	・祭りの和楽器やシンセサイザー、コンピュータ、手作りの楽器に親しむ。	(1)独唱、斉唱、二部合唱、オペレッタなどによる表現に慣れ、歌詞の内容や曲想などを味わいながら歌う。	・独唱、斉唱、二部合唱などそれぞれの表現の違いを知る。
		・個々の楽器の特色や音色が分かり、その楽器にふさわしく演奏する。		・上記の表現の仕方に慣れ、歌詞の内容で伝えたいメッセージを想像しながら歌う。
		・自分の好きな楽器を選んだり、楽器の特色や音色の重なりを聴いて自分の奏法を工夫したりする。		・友達と一緒に旋律やリズム、和声の特徴を感じ取りながら楽しんで歌う。
		・シンセサイザーやコンピュータで音や旋律を作ったり、手作り楽器で即興的な曲作りを楽しんだりする。		・簡単な音楽劇の創作を通して、創造的な音楽活動の域を広げる。
		・友達同士で互いの音楽を聴き合ったり、尊重しながら、一緒に曲を作ったりすることを通して達成感を味わう。		・日本の民謡や世界の民謡などを歌いながら踊ったりして楽しむ。
		・電子機器を活用することによって、小さな表現を拡大したり、それぞれの生徒の想像を表現できるようにする。		・伴奏や指揮、友達の歌に合わせて歌うことを更に発展させ、音楽を活用し、他の者と一緒に楽しむことができる。